



おびにしわくわく通信

NO.2

2022.04.11

文責: 荒木

子供たちが帯西レンジャーと共に活躍する学校

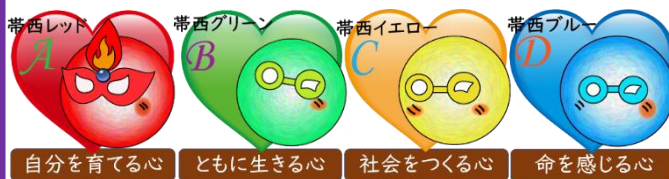
皆さんは、「帯西レンジャー」はご存じですか？実は、この「帯西レンジャー」の原型は、私が教諭時代に赴任していたある学校で生まれました。その頃の私は、もっと子供たちに活躍の場はないかと考えていました。あるとき、百貨にあった5色の被り物を見つけ、そこからヒントを得て、「〇〇レンジャー」が誕生しました。そして、イベントがあるたびに登場し、子供たちと共に活躍していました。そのとき、同学年を組んでいた先生が、帯西に赴任され、「帯西レンジャー」をこの地で広められたのです。新聞等で報道され、帯西の方で認知度が高まったのです。

さて、その誕生から20年の月日が経ちました。その20周年を記念して、子供たちに愛着のある「帯西レンジャー」に道徳的な意味付けを行います。子供たちが日頃から勉強している

道徳は、「4つの視点」から学んでいます。その「4つの視点」を「4つの心」として「帯西レンジャー」を使って以下のように表すこととします。

道徳科の4つの視点と帯山西小「4つの心」

- A:主として自分自身に関すること
→帯西レッド「**自分を育てる心**」
- B:主として人との関わりに関すること
→帯西グリーン「**ともに生きる心**」
- C:主として集団や社会との関わりに関すること
→帯西イエロー「**社会をつくる心**」
- D:主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること→帯西ブルー「**命を感じる心**」

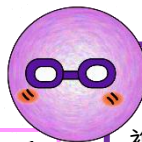


このように帯西レンジャーに道徳的な意味付けを行うことで、教師が子供を、あるいは子供同士がわかりやすく心や行動を評価（価値付け）することができるようにしています。例えば掃除をがんばっている子供にどんな心でがんばったのかを問い、子どもたちが「帯西レッド」の心で隅々まで掃除をがんばりました。「帯西イエローの心で棚の下も拭きました。」など、評価ツールとして子どもたちの生活の中にも浸透していくと思われま

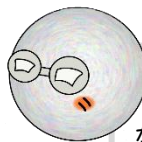
す。ここで帯西レンジャーに詳しい方は、キング、パープル、ホワイト、ブラックはどうするのか？という疑問があると思います。この3人のレンジャーは以下のように活用します。



帯西キング
レンジャーを
統べる象徴



帯西パープル
自分を振り返り、
複数の心が伸びた
と感じたときは、パ
ープルの心です。



帯西ホワイト
めあてや目標
が決まっていない
ときや、これから
考えるときは、ホ
ワイトの心です。



帯西ブラック
めあてや目標を決
めたものの、実際
に行動できなかったり、
失敗したりしたときは
ブラックの心です。

帯西レンジャーを学級・学校、そして家庭の中でどんどん使うことによって、学校教育目標の「みんなが『わくわく』する」に近づき、「子供たちが帯西レンジャーと共に活躍する学校」になると思っています。学校と子供たち、そして家庭が共に帯西レンジャーを共有して、帯山西小学校をもっと「わくわく」する学校にしていきたいと思います！